
大平洋金属株式会社 2023年3月期 期末決算説明会

2023年5月17日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部(IR担当)TEL:03-3201-6681

1. 経営環境について

(1) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	4
(2) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	5
(3) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	6
(4) ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向	7

2. 2023年3月期 通期決算実績

(1) 通期決算実績(サマリー)	9
(2) 通期決算実績(トピックス)	10
(3) 国別販売実績	11
(4) 連結経常損益分析	12

3. 2024年3月期 通期決算見通し

(1) 通期決算見通し(サマリー)	14
(2) 通期決算見通し(トピックス)	15
(3) 国別販売先の動向	16
(4) 国別販売見通し	17
(5) 連結経常損益分析	18

4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

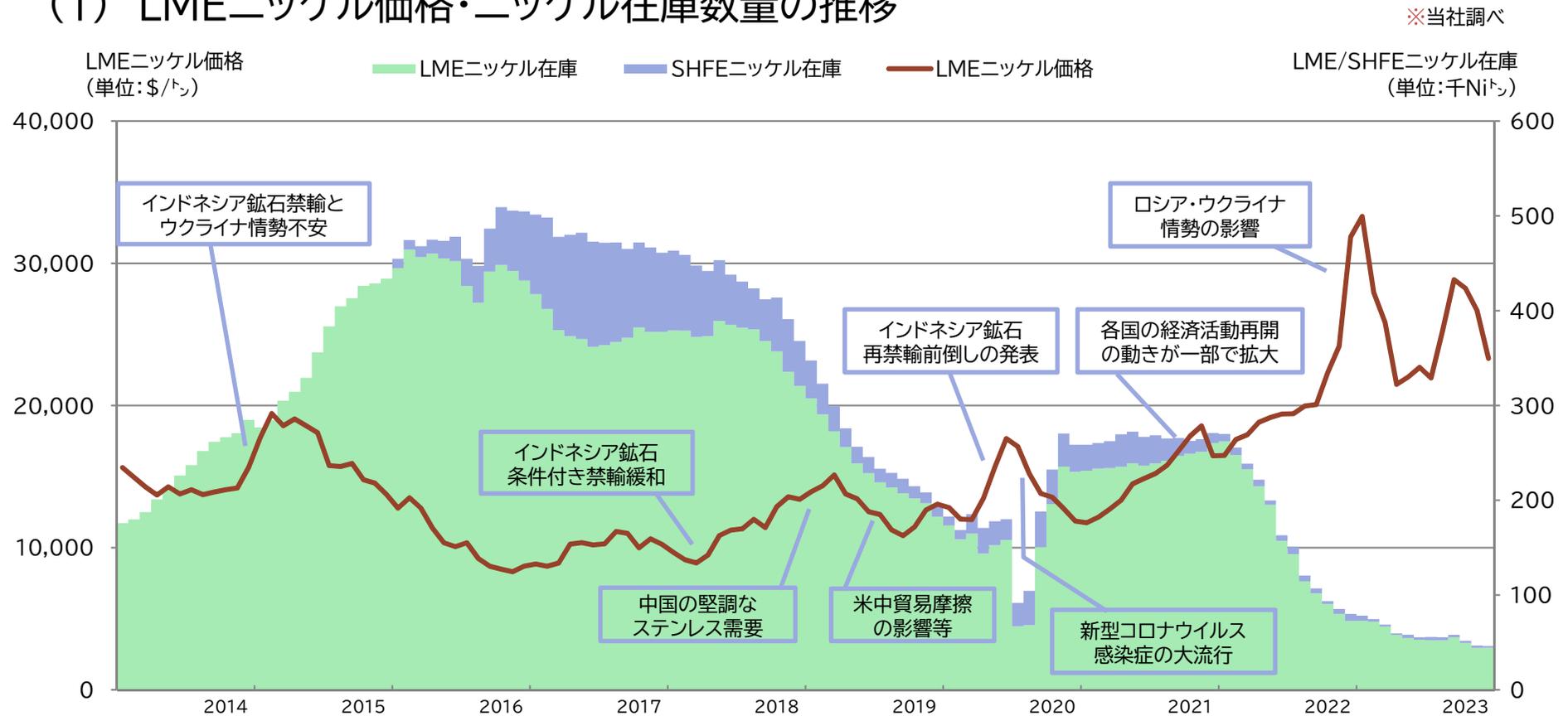
(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ	20
(2) 投資計画の進捗について	22
(3) 鉱石調達について	23

(ご参考)中期経営計画 数値データ	24
-------------------	----

1. 経営環境について

1. 経営環境について

(1) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



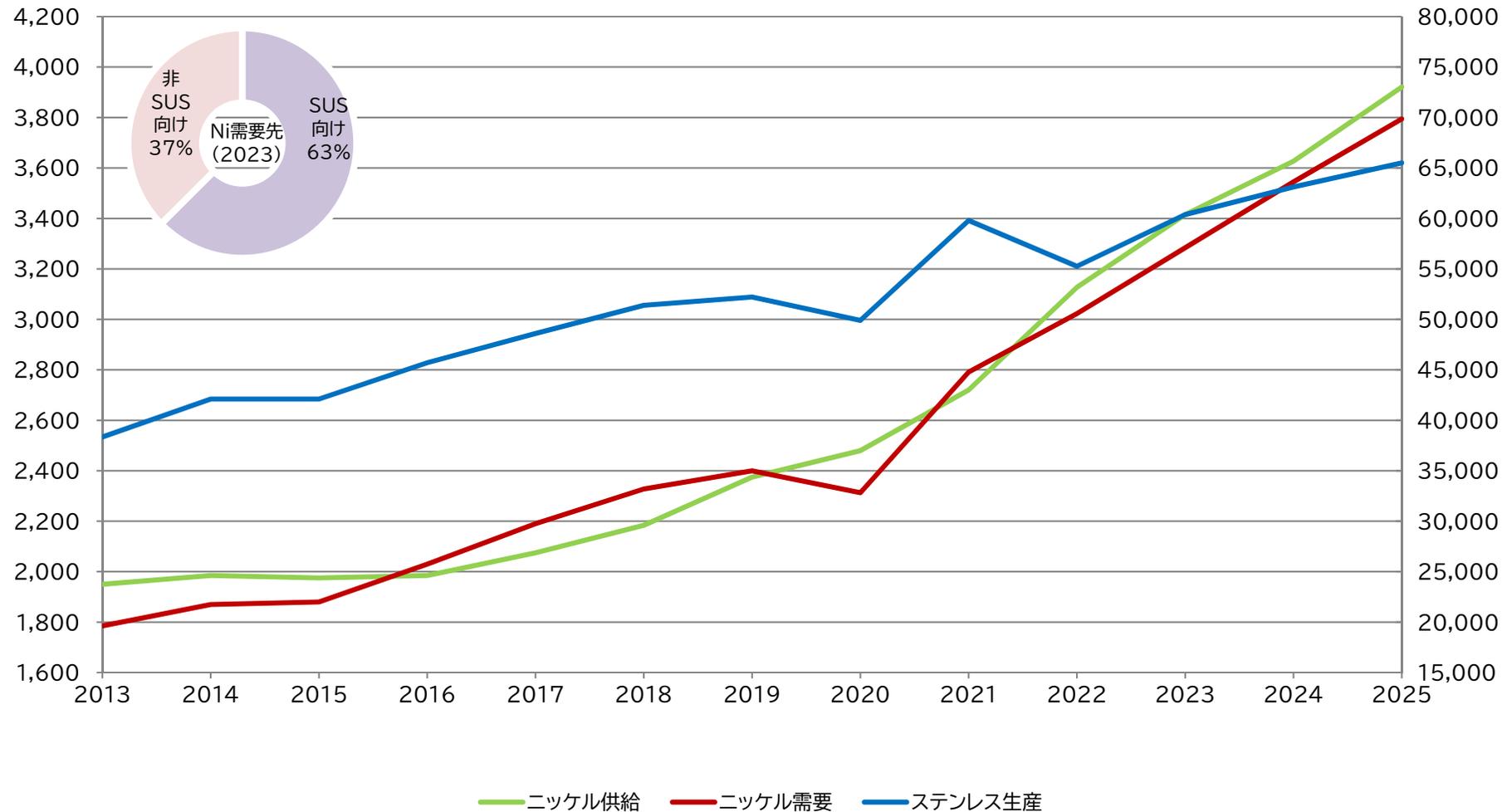
業績の推移	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
売上高 (百万円)	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062	44,133	32,217	57,129	34,852
営業利益 (百万円)	△4,079	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176	△1,879	△493	4,806	△12,588
経常利益 (百万円)	△1,838	△91	△12,283	△515	△203	3,451	972	3,344	12,999	△4,960

(2) 世界のステンレス生産・ニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給(単位:千Niト)

ステンレス生産(単位:千ト)



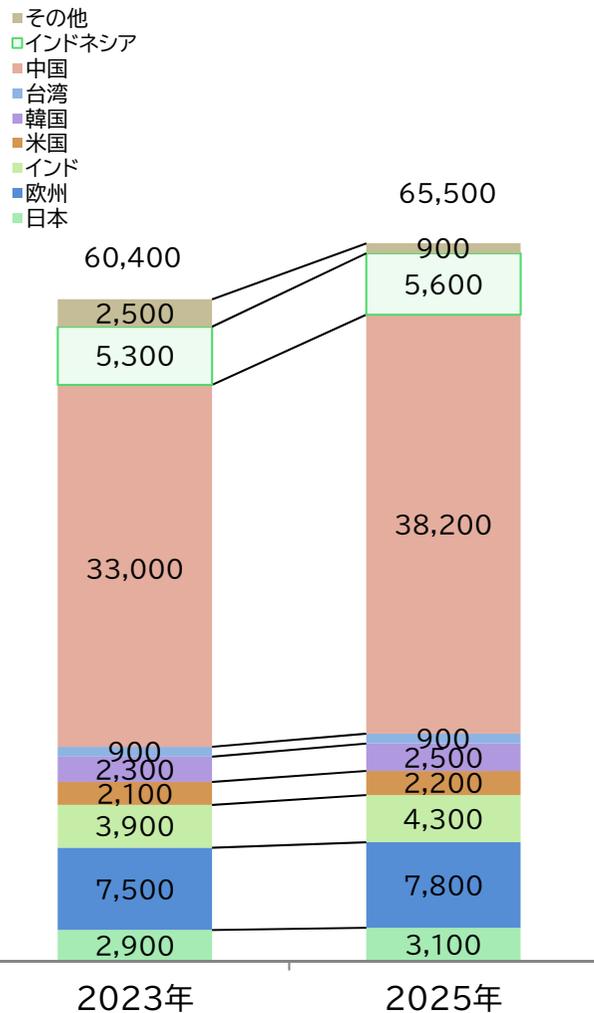
1. 経営環境について

(3) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

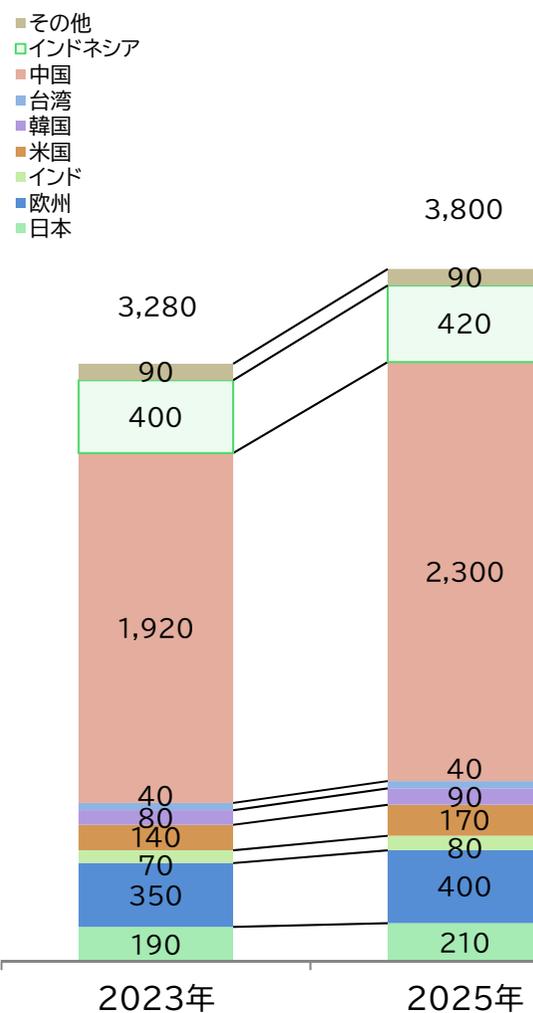
ステンレス生産見通し

(単位:千ト)



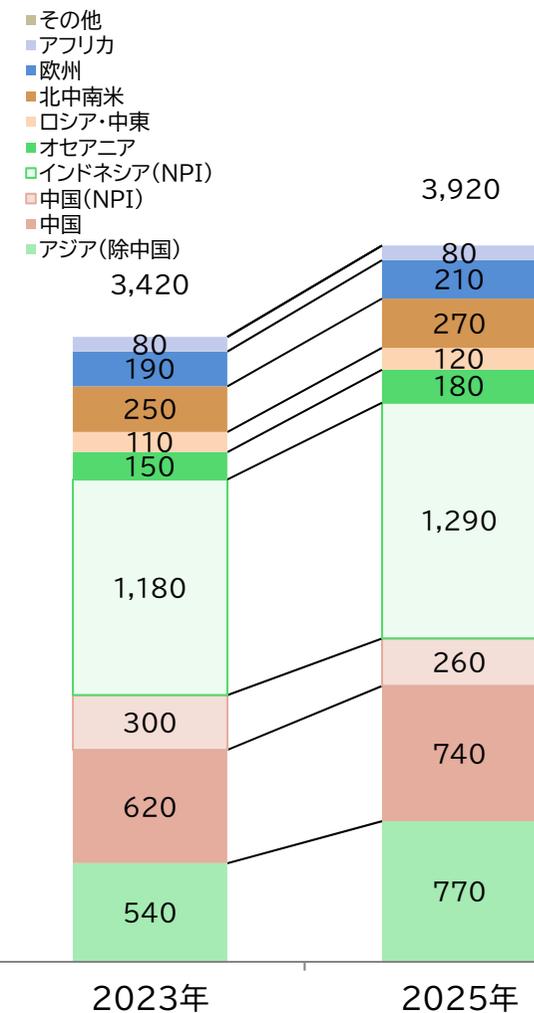
ニッケル需要見通し

(単位:千Niト)



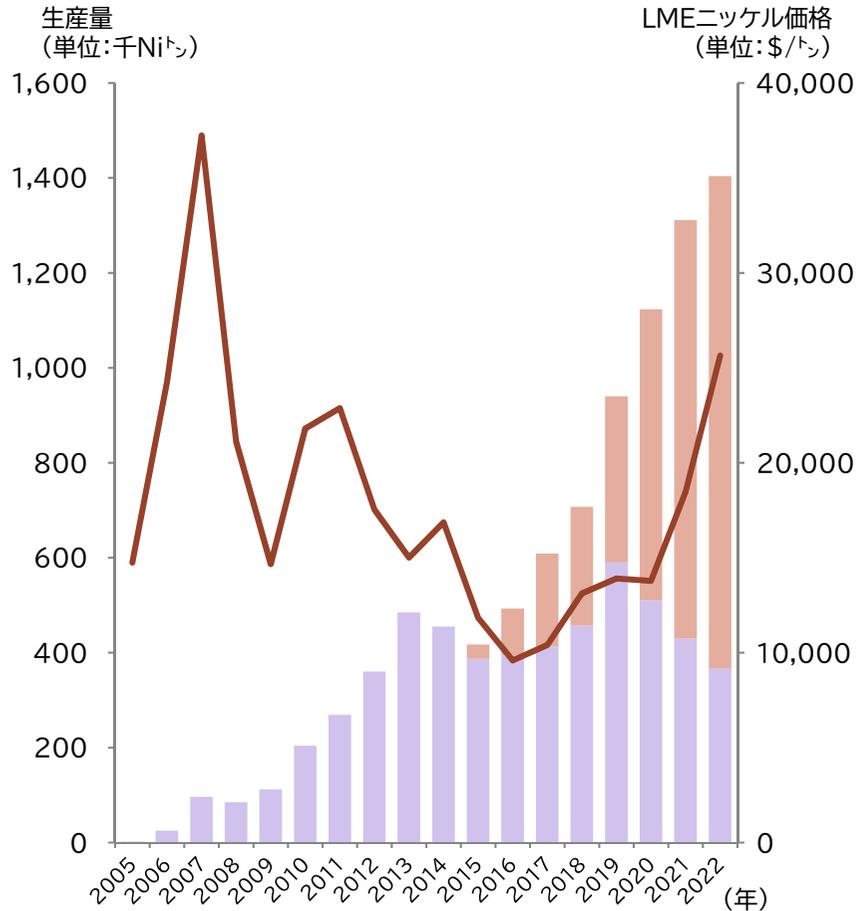
ニッケル供給見通し

(単位:千Niト)



(4) ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向

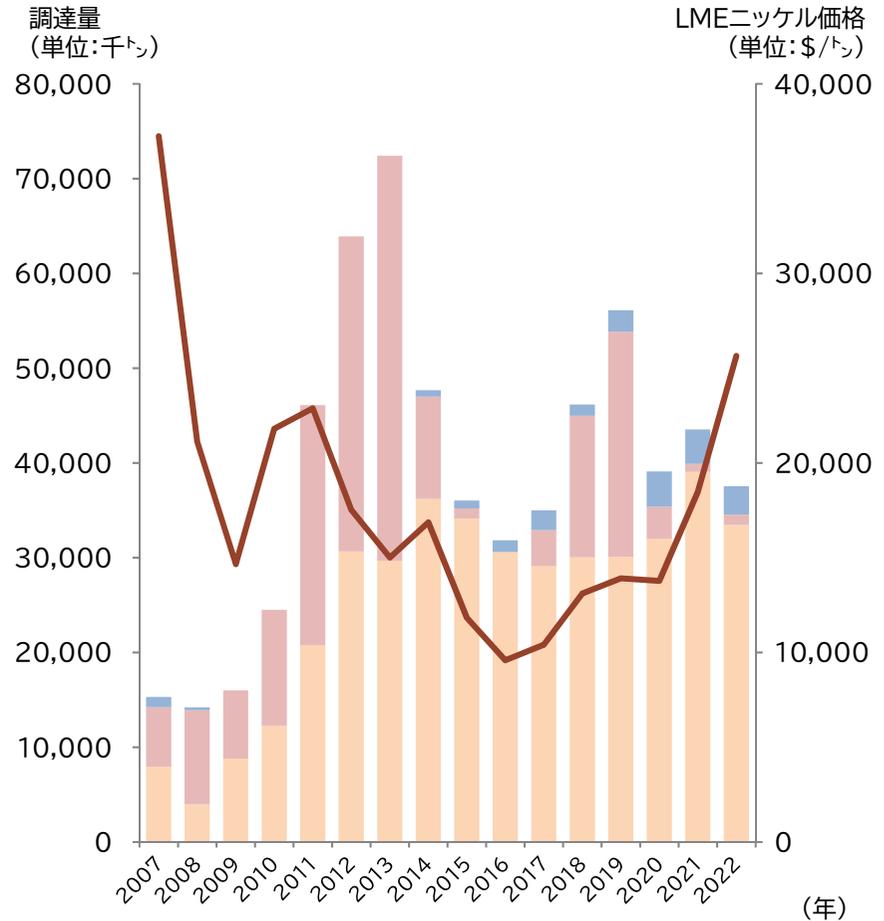
ニッケル銑鉄(NPI)生産量の推移



中国NPI インドネシアNPI LMEニッケル価格

中国のニッケル鉱石調達量の推移

※当社調べ



フィリピン インドネシア その他 LMEニッケル価格

2. 2023年3月期 通期決算実績

2. 2023年3月期 通期決算実績

(1) 通期決算実績(サマリー)

	2022.3 実績		2023.3 予想 (2/8発表)		2023.3 実績		対 前期比(%)	対 2/8発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	57,129	—	35,318	—	34,852	—	△39.0	△1.3
営業利益(△損失)	4,806	8.4	△9,736	△27.6	△12,588(*)	△36.1	—	—
経常利益(△損失)	12,999	22.8	△2,664	△7.5	△4,960(*)	△14.2	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	11,368	19.9	△3,061	△8.7	△5,026(*)	△14.4	—	—
(投資額)	686	—	—	—	1,232	—	79.6	—
(減価償却費)	256	—	—	—	289	—	12.9	—

(*) 棚卸評価損 89億円(2023.3 実績)を除く損益：営業利益 △36億円、経常利益 40億円、当期純利益 39億円

	2022.3 実績	2023.3 予想 (2/8発表)	2023.3 実績	対 前期比 (%)	対 2/8発表 予想比 (%)
生産数量(Niト)	26,249	13,484	13,380	△49.0	△0.8
販売数量(Niト)	27,060	12,500	12,393	△54.2	△0.9
適用LME(US\$/ト)	19,290	25,309	25,507	32.2	0.8
[適用LME(US\$/lb.)]	[8.75]	[11.48]	[11.57]		
適用為替(¥/US\$)	111.67	135.53	135.26	21.1	△0.2

(2) 通期決算実績(トピックス)

① 調達面

- ニッケル鉱石価格
 - 調達価格は高水準で推移
- エネルギーコスト(原燃料・電力)
 - 世界的な資源高により価格が高騰し生産コストの上昇幅が拡大

② 販売数量面

- 電気炉溶融物漏出事故の影響
- ニッケル需給の緩み
- 海外ステンレス生産者が生産コストを含めても価格優位性が見られるニッケル銑鉄(NPI)へ一部調達をシフト

③ 生産面(電気炉溶融物漏出事故について)

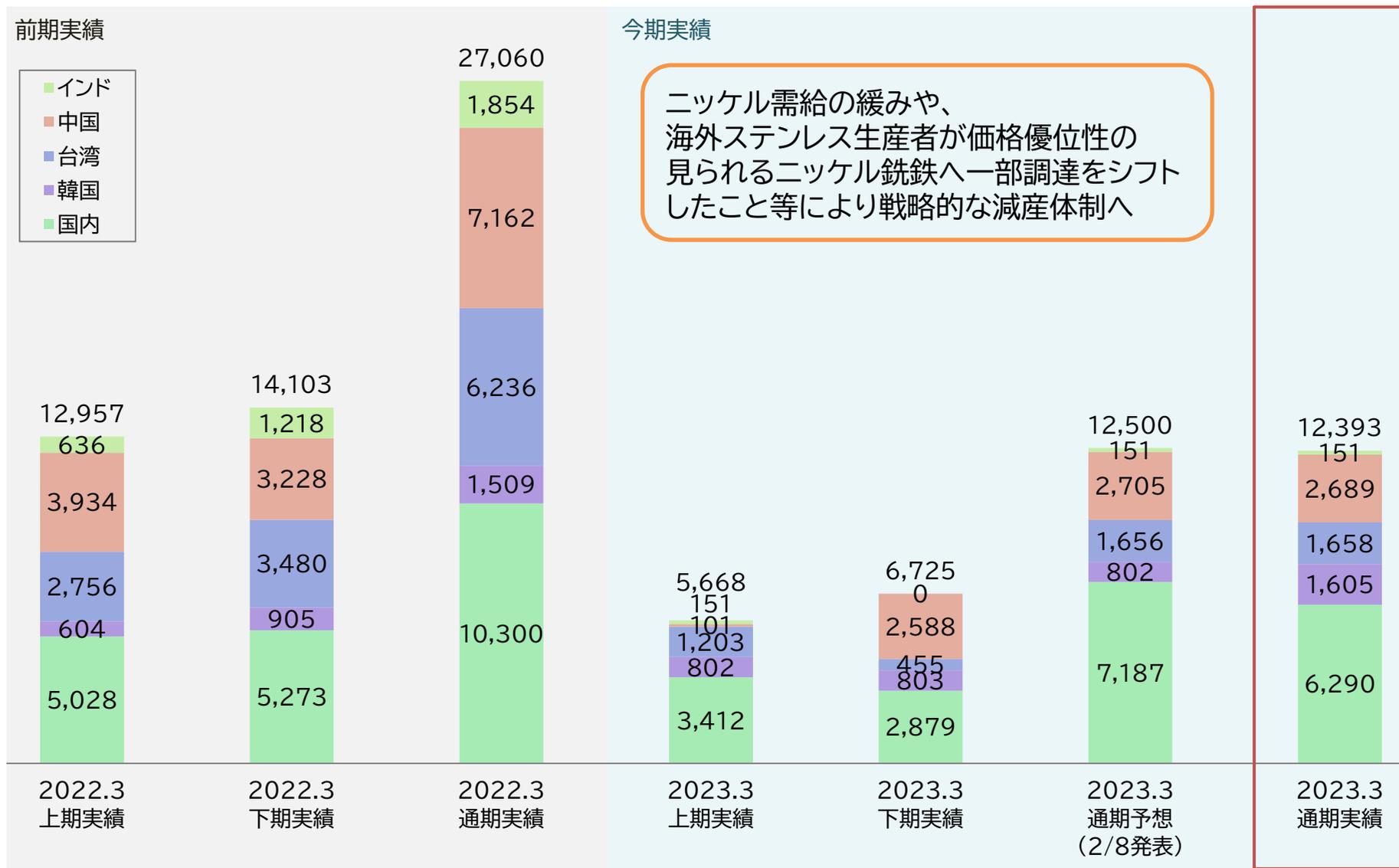
- 生産設備(1基)の操業再開について
 - 操業再開は2024年3月期の見込み
 - 事業環境を注視しつつ、数量抑制方針を解除した段階で操業再開予定

④ 販売価格面

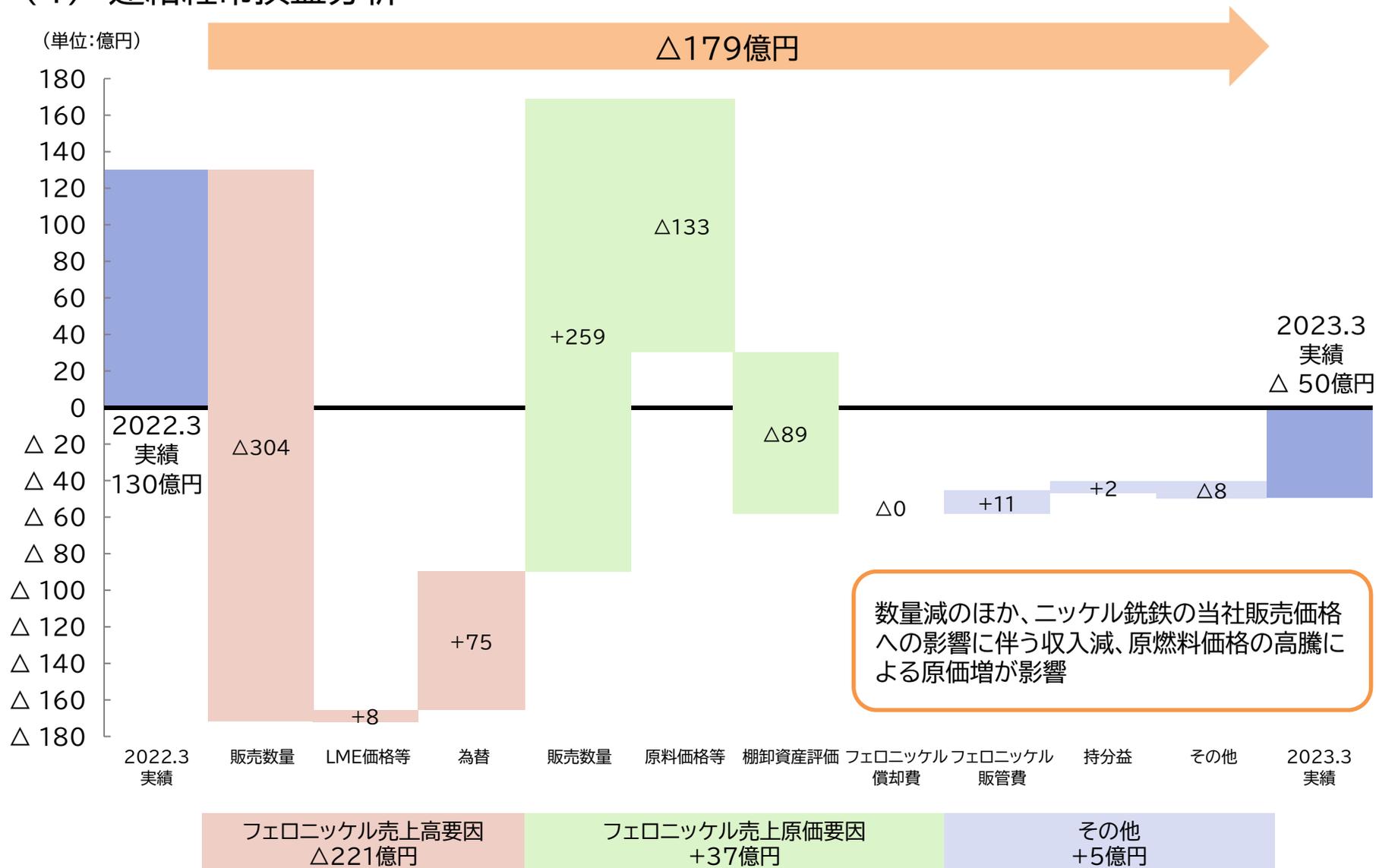
- ニッケル銑鉄(NPI)価格の影響
 - 当社適用LMEニッケル価格と当社適用為替レートに加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準としており、収入が伸び悩む厳しい販売環境へ急変

(3) 国別販売実績

(単位: Niト)



(4) 連結経常損益分析



3. 2024年3月期 通期決算見通し

3. 2024年3月期 通期決算見通し

14

(1) 通期決算見通し(サマリー)

	2023.3 実績		2024.3 予想		対前期比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	
売上高	34,852	—	20,899	—	△40.0
営業利益(△損失)	△12,588	△36.1	△7,299	△34.9	—
経常利益(△損失)	△4,960	△14.2	△4,569	△21.9	—
親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△5,026	△14.4	△4,778	△22.9	—
(投資額)	1,232	—	2,536	—	105.8
(減価償却費)	289	—	371	—	28.4

	2023.3 実績			2024.3 予想			対前期比 (%)
	上期	下期	通期	上期予想	下期予想	通期予想	
生産数量(Niト)	8,079	5,301	13,380	3,543	3,540	7,083	△47.1
販売数量(Niト)	5,668	6,725	12,393	3,450	4,750	8,200	△33.8
適用LME(US\$/ト)	26,720	24,493	25,507	23,545	22,046	22,686	△11.1
[適用LME(US\$/lb.)]	[12.12]	[11.11]	[11.57]	[10.68]	[10.00]	[10.29]	
適用為替(¥/US\$)	131.49	138.44	135.26	134.06	134.10	134.08	△0.9

(2) 通期決算見通し(トピックス)

①生産・販売数量面

- 戦略的な数量の抑制方針を継続
 - ニッケル需給に緩み
 - ステンレス生産者は、生産コストを含めて価格優位性のあるニッケル銑鉄(NPI)へ一部調達をシフト

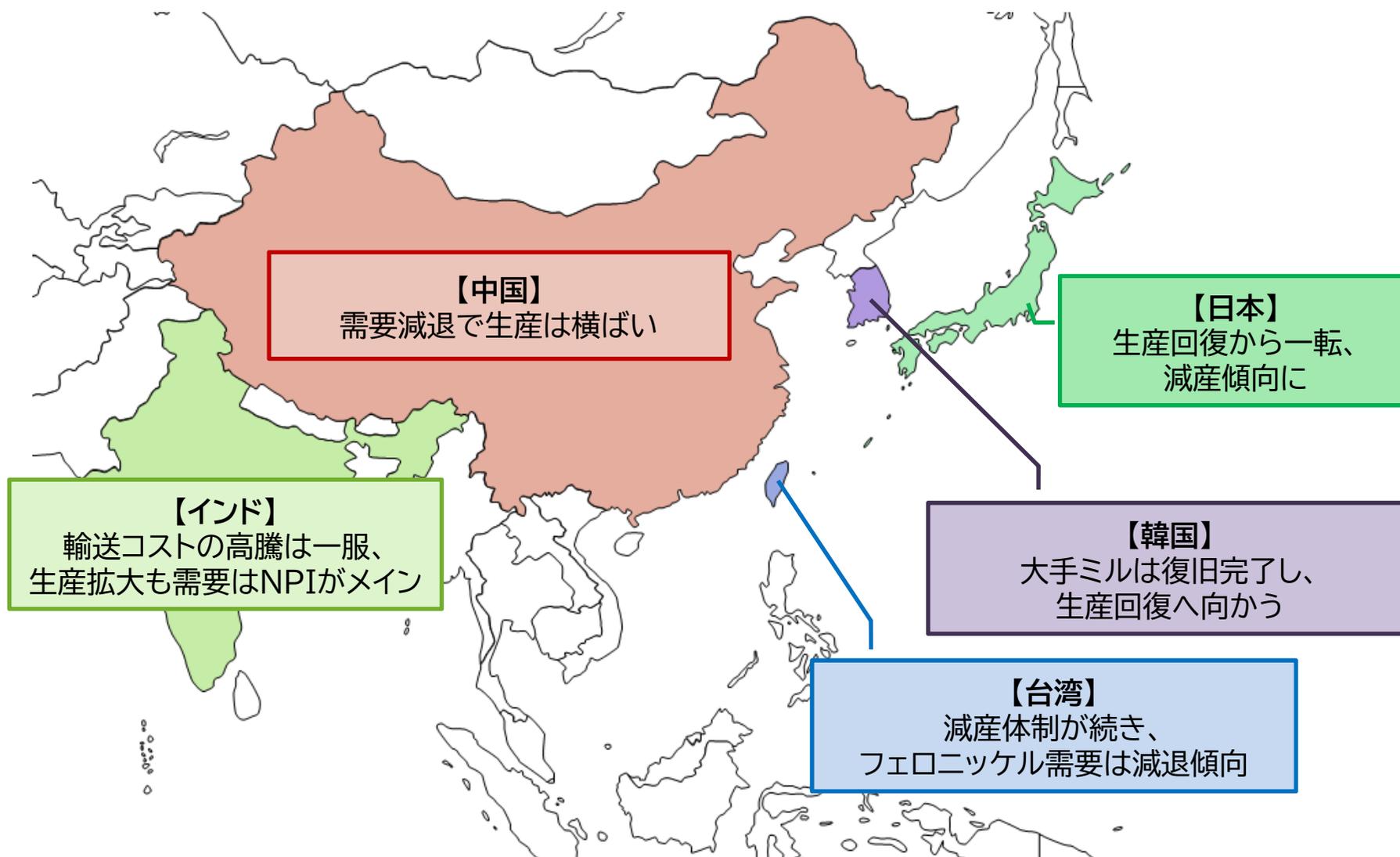
②販売価格面

- ニッケル銑鉄(NPI)価格の影響
 - 当社適用LMEニッケル価格と当社適用為替レートに加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準

③調達価格面

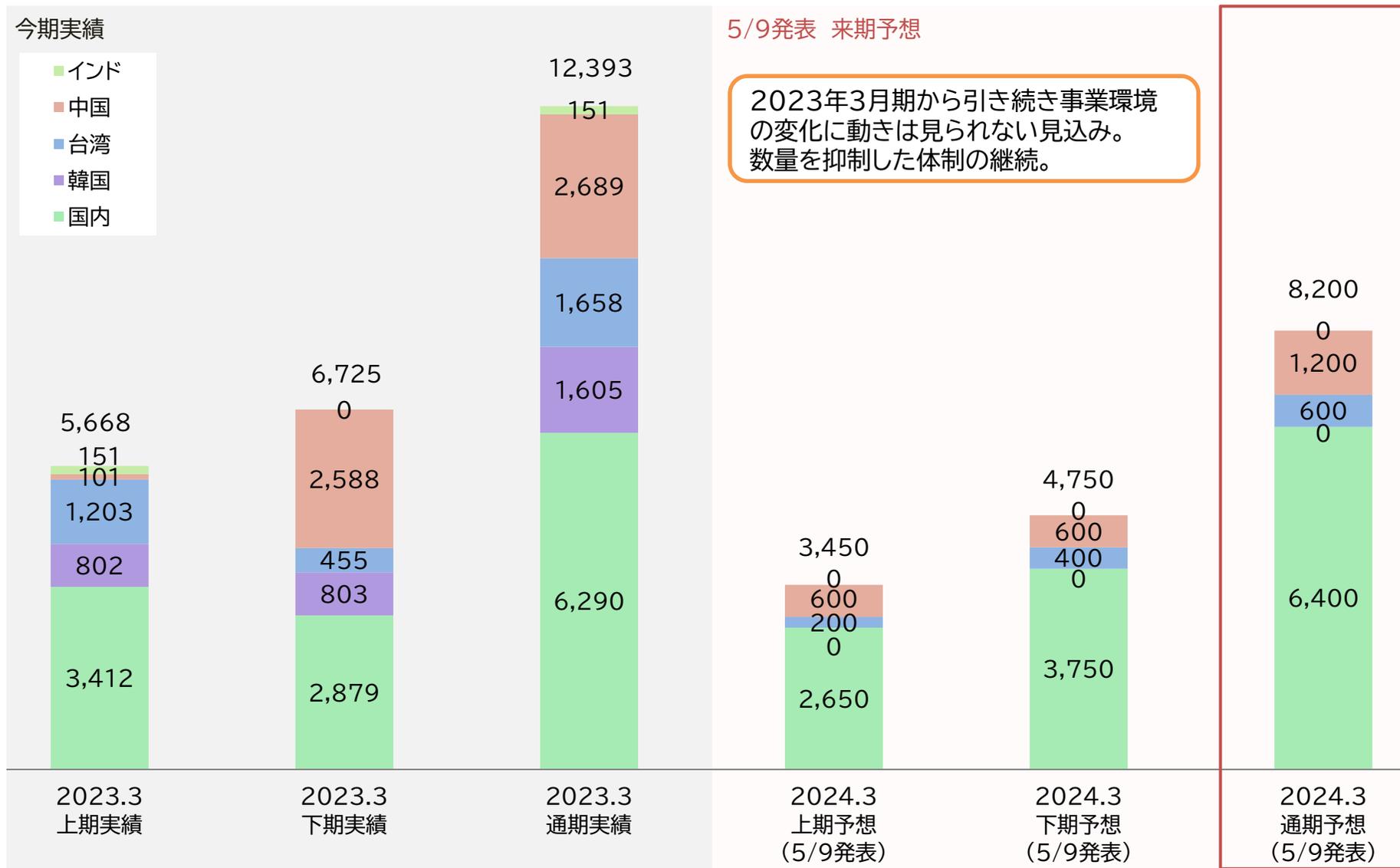
- エネルギーコスト高
 - ニッケル鉱石の価格及び世界的な資源高により原燃料や電力の価格は高水準に推移
 - 価格面で大きな影響を与えることが見込まれる

(3) 国別販売先の動向

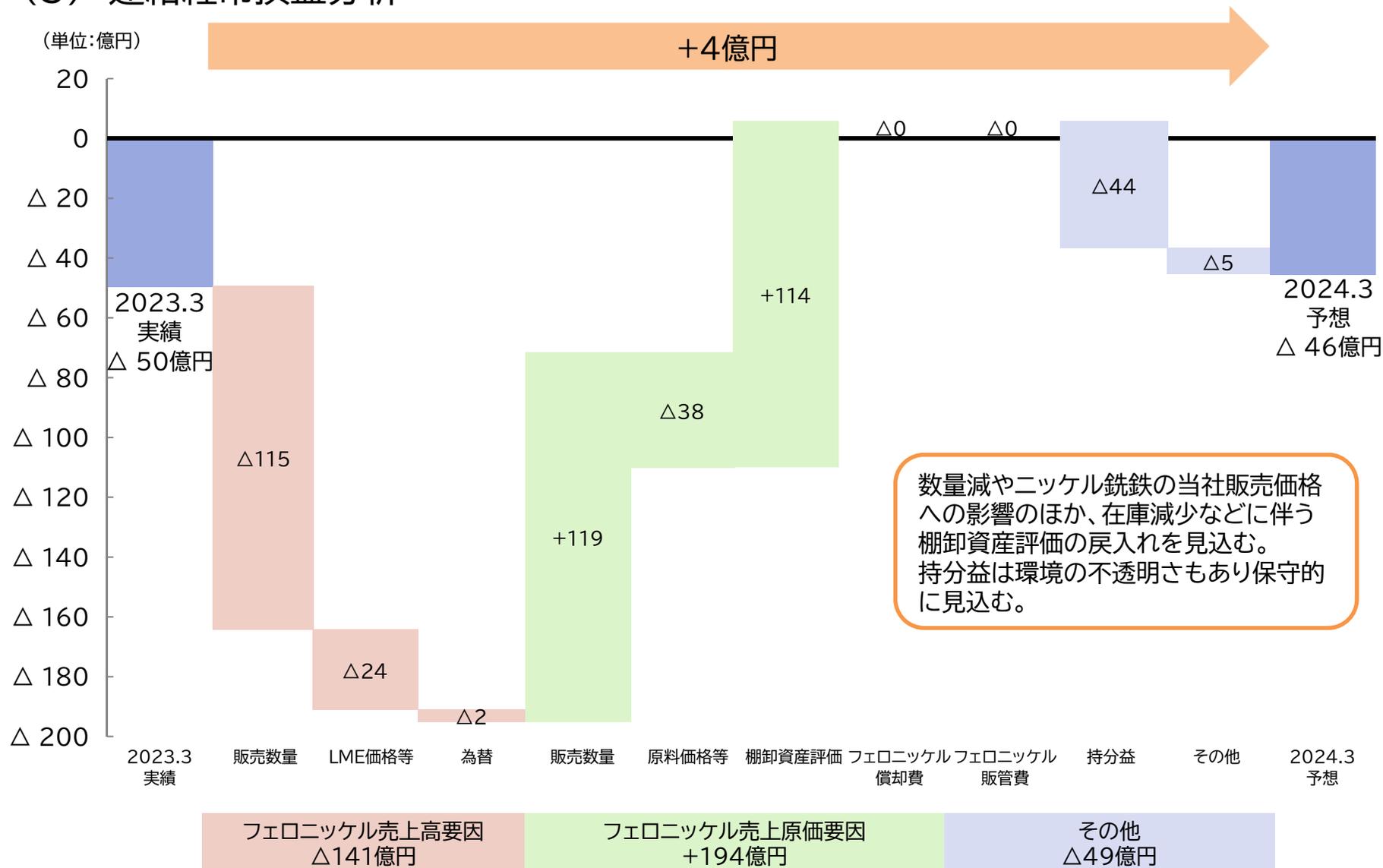


(4) 国別販売見通し

(単位: Niト)



(5) 連結経常損益分析



4. 中期経営計画 「PAMCO-2024」の進捗状況

(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

進捗状況・今後の取り組み	
<p>海外製錬事業への展開検討の加速</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 海外製錬プロジェクトの推進と生産立上げ 海外製錬事業への参画に向け、引き続きインドネシア現地パートナーと協議中
<p>社会に貢献する新規事業の創出</p> 	<ul style="list-style-type: none"> LIB材料向け原料の製造販売事業の実現 他社との協業も視野に事業化に向けた検討を継続 LIBリサイクル技術の開発 エマルジョンフロー・テクノロジーズ社と共同研究開発に着手 新たな金属製錬プロジェクトの推進(詳細は次ページ)
<p>循環型社会に貢献する国内事業の多角化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル事業の再構築 他社で発生する副産物を活用し、製鋼用原料及び電池材料向け原料の製造販売に向け、実証試験で得られた製鋼用原料等を評価中 当社溶融処理技術を活用し、都市鉱山資源からの貴金属抽出による再資源化に取り組み、抽出貴金属を評価中
<p>サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量の低減 Fe-Ni製造の煅焼工程におけるロータリーキルン操業での化石燃料からの脱却(還元に必要な石炭除く)に向け、マイクロ波を活用した電化プロセスの検討を継続 テーブル試験にてマイクロ波加熱による鉱石からの結晶水の除去を確認 より規模を拡大した試験への移行(投資)を検討中 統合報告書の発行 2023年2月発行(※詳細は当社ホームページ「サステナビリティ」をご覧ください)



(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

進捗状況・今後の取り組み

社会に貢献する 新規事業の創出



● 新たな金属製錬プロジェクトの推進

➤ 環境・社会への配慮を第一に海底資源からの新たな金属製錬事業を検討中

➤ The Metals Company株式会社と拘束力のない覚書を締結

The Metals Company 株式会社(TMC)が2024年末に予定している Clarion Clipperton Zoneでの多金属ノジュールの商業生産開始に合わせ、2025年以降の当社八戸製造所での受託製錬を検討するため、拘束力のない覚書を締結しました。

【覚書を締結した理由】

- ✓ 付加価値の高い多金属ノジュールの製錬を実現し、八戸製造所の価値を向上させることを期待。
- ✓ 2025年以降に多金属ノジュールを受託製錬し、LIB用中間原料及び製鉄原料を生産する可能性を評価。
- ✓ 両社は、2023年に受託製錬に関する拘束力のあるMOU(覚書)の締結を目指す。

【本覚書での合意事項】

- ✓ 八戸製造所の生産設備能力の確認及び追加設備要件特定のための調査及び試験を実施。
- ✓ Ni-Cu-Co合金からマット製品を製造するための追加設備の検討・評価。

当社は、環境・社会への配慮を第一に、諸団体の動向を注視・尊重し本取り組みを進めてまいります。

(2) 投資計画の進捗について

(単位:百万円)	「PAMCO-2024」 2023.3計画	2023.3実績	(差異)	2024.3予想
①設備投資	1,495	1,126	△369	472
② 1)国内事業	53	70	17	0
② 2)海外事業・資源	5,506(*)	31	△5,475	2,007
② 3)研究開発投資	35	5	△30	57
合計	7,089	1,232	△5,857	2,536

「PAMCO-2024」
2023.3計画と
2023.3実績との
差異の理由

- 主に、② 2)海外事業・資源投資(*)について、海外製錬プロジェクトのオーナーの再編により支配株主が変わったため投資を見送り。
- 今後、新しい支配株主と実現に向けて会話を再開する予定であり、進捗状況により投資時期を決定する見込み。

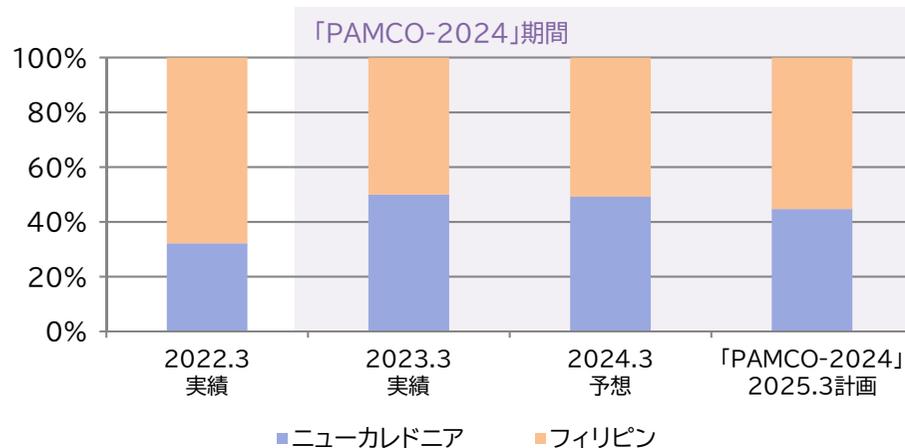
(3) 鉱石調達について

① 長期契約締結状況

長期契約先	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
■ リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	前契約期間	更新	契約期間:2022.1~2026.12(5年間)		
■ タガニート社(33.5%出資)	前契約期間		契約期間:2022.1~2026.12(5年間)		
■ カグジャナオ社	前契約期間		契約期間:2022.1~2026.12(5年間)		
■ MKM社(1)	契約期間:2014.1~2023.12(10年間)				
■ MKM社(2)	契約期間:2016.1~2025.12(10年間)				
■ モンタニア社	契約期間:2016.4~2026.3(10年間)				

■ フィリピン ■ ニューカレドニア

② 調達割合



③ 調達状況について

- ニッケル鉱石調達を取り巻く環境**
 - インドネシア鉱石は2014年1月に禁輸実施
 - 2017年1月~2019年12月まで一時禁輸緩和
 - その後、2020年1月より禁輸再開
 - 鉱石需給は引き続きタイトな状況が継続
- 当社の鉱石調達方針**
 - 継続した鉱石調達方針として、ニューカレドニア鉱石の調達拡大を推進

(ご参考)中期経営計画 数値データ

「PAMCO-2024」期間 計画値	(単位:金額 百万円)	2023.3 計画	2024.3 計画	2025.3 計画
	生産数量(Niト)	20,810	29,037	28,454
	販売数量(Niト)	20,500	27,500	27,500
	適用LME(US\$/ト)[US\$/lb.]	21,451[9.73]	19,379[8.79]	19,290[8.75]
	適用為替(¥/US\$)	111.05	111.06	111.07
	売上高	50,210	60,958	60,801
	営業利益	925	225	1,809
	経常利益	3,844	2,822	4,549
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,513	2,415	4,058
	総資産	89,594	91,934	97,914
	純資産	81,026	82,416	85,797
	投資額	7,089	1,869	9,484
	減価償却費	314	402	536

「PAMCO-2024」期間 実績値・予想値	(単位:金額 百万円)	2023.3 実績	2024.3 予想	
	生産数量(Niト)	13,380	7,083	
	販売数量(Niト)	12,393	8,200	
	適用LME(US\$/ト)[US\$/lb.]	25,507[11.57]	22,686[10.29]	
	適用為替(¥/US\$)	135.26	134.08	
	売上高	34,852	20,899	
	営業利益(△損失)	△12,588	△7,299	
	経常利益(△損失)	△4,960	△4,569	
	親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△5,026	△4,778	
	総資産	78,825	73,893	
	純資産	72,034	66,963	
	投資額	1,232	2,536	
	減価償却費	289	371	



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
